

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：酒井 雄介 〒144-0041東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

定航協・交運労協とカスハラ問題を議論！ ～産業・労使が一枚岩となって対策強化を！～

機内盗撮・カスハラの根絶に向けて 第13弾

7月27日（木）、定期航空協会と交運労協、航空連合の3者でカスタマーハラスメント問題に関する意見交換をおこないました。これは、交運労協が2021年に構成組織組合員を対象におこなったアンケートに基づき、交通・運輸に関わる各業界団体に対して、産業労使でこの問題に取り組むよう提起することを目的におこなっているものです。

定期航空協会の大塚 洋（おおつか ひろし）理事長は、**カスハラ対策を業界全体の課題として取り組む必要性を共有**するとともに、**会員各社の取り組みをサポート**していく意向を示しました。

航空連合では昨年12月に独自の組合員向けアンケートを実施し、実態の把握に努めましたが（[航空連合NEWS24-07参照](#)）、引き続き定航協や交運労協、さらに連合や他の産業別組合とも連携し、加盟組合のサポートから法整備も含め、カスタマーハラスメント対策の強化に取り組んでいきます。



大塚 洋
定期航空協会理事長



住野 敏彦
交運労協議長



内藤 晃
航空連合会長（交運労協副議長）



航空連合ビジョン

いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもって働ける産業